

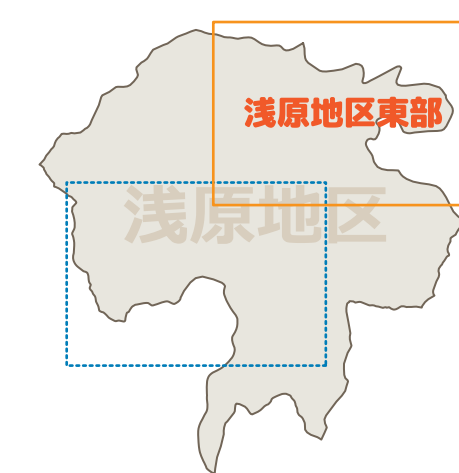


浅原地区東部

廿日市市
令和3年3月作成

土砂災害ハザードマップ

このマップの表示範囲



マップの注意事項

※このハザードマップは大雨による土砂災害を想定し、土砂災害警戒区域や避難場所等を表示しています。
※マップ上の「災害注意箇所」は地域の方と話し合いを重ねて掲載しています。
※避難行動は「警戒レベル3」発令時を基本としてください。

マップに関するお問い合わせ先

廿日市市 総務部 危機管理課 電話：0829-30-9102
佐伯支所 地域づくりグループ 電話：0829-72-1112

ハザードマップの使い方

STEP 1 自宅を見つけよう！

地図上で自宅を見つけ、自宅周辺のリスクを確認します。

STEP 2 避難先を考えよう！

避難場所の開設計画を確認し、安全な避難先を考えます。

☐ 避難場所、または親戚宅に移動？
☐ 自宅で車道避難？

STEP 3 避難方法を考えよう！

避難先までの移動手段、避難経路などを考えます。

徒歩の場合
車の場合
通過？

はつかいち安全・安心メール配信サービス

登録された携帯電話やパソコンに災害情報などをメール配信するサービスです。緊急速報メールなどよりも詳細な情報が届きますので事前に登録をお願いいたします。

登録用アドレス bousai.hatsukaichi-city@raidan.ktaiwork.jp

QRコード読み取り機能搭載の携帯電話・スマートフォンの場合は、左のQRコードを読み取り、表示内容に従って件名を確認し、メールを送信してください。

土砂災害の凡例

がけ崩れ	土石流
 土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域	 土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域

定義
●土砂災害特別警戒区域：建物が破壊され、人命に大きな被害が生ずるおそれがある区域
●土砂災害警戒区域：土砂災害のおそれがある区域

区域指定の基準

急傾斜地の高さ(h)
10m以内
特別警戒区域

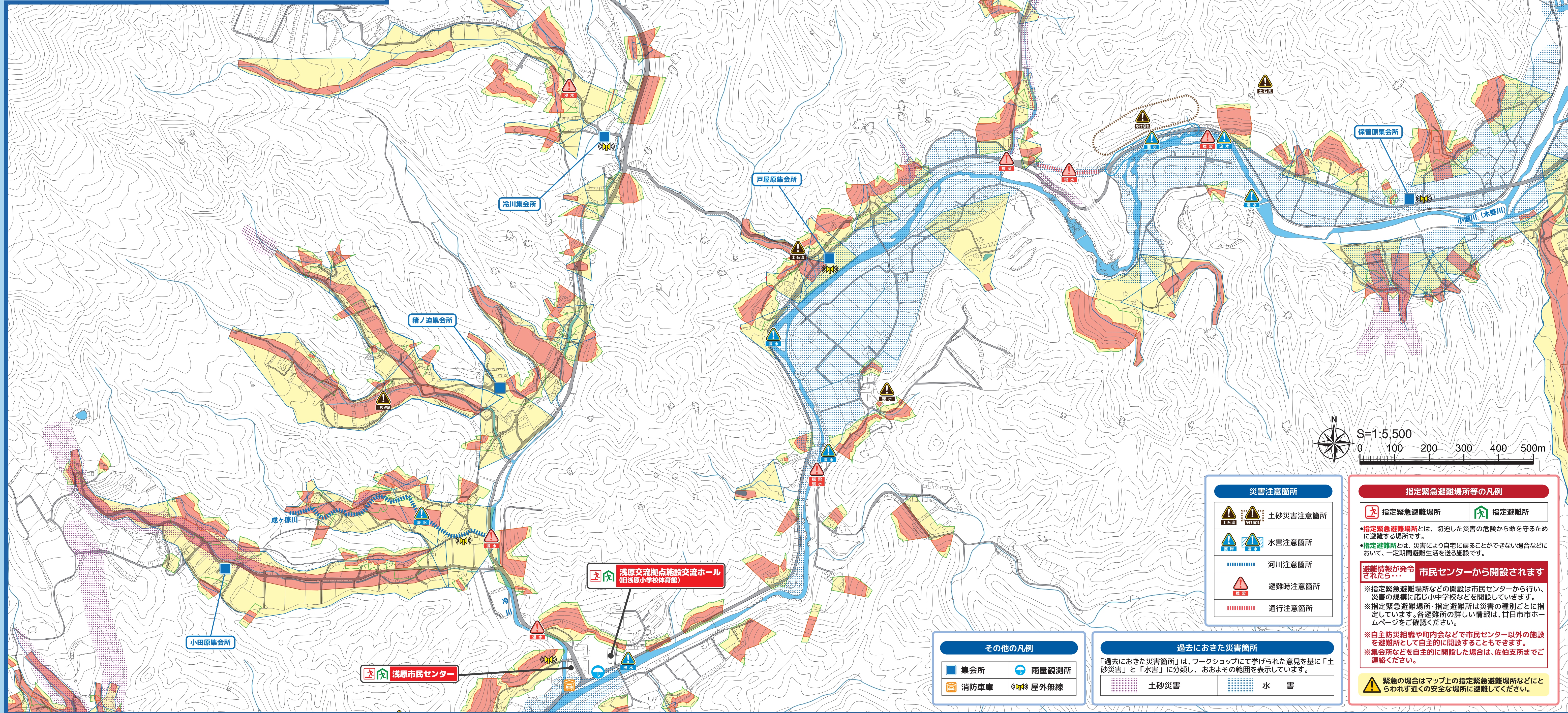
急傾斜地の高さ(h)
急傾斜地の上部
急傾斜地の下部
2h以内(ただし50mを超える場合は50m)

土石流のおそれのある渓流
扇頂部
勾配が2度まで

災害危険箇所は、避難を中心とした防災対策を進めるためのものであり、災害や被害の発生範囲を決定するものではありません。区域内外に関わらず、早めの避難を心がけてください。

警戒レベルと避難行動(とるべき行動)

警戒レベル	避難情報(市が発令)	とるべき行動
5	警戒レベル5	●既に災害が発生しています。 ●命を守るための最善の行動をとりましょう。
4	警戒レベル4	●速やかに避難しましょう。 ●避難先までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
3	警戒レベル3	●避難に時間を要する人(高齢者、障害のある方、乳幼児など)とその支援者は避難をしましょう。 ●その他の人は避難の準備を整えましょう。
2	警戒レベル2	●避難に備え、このハザードマップで避難先や避難行動を確認しましょう。
1	警戒レベル1	●今後、大雨警報などが発表される可能性があります。 ●災害への心構えを高めましょう。



災害注意箇所

	土砂災害注意箇所
	水害注意箇所
	河川注意箇所
	避難時注意箇所
	通行注意箇所

その他の凡例

	集会所
	消防車庫
	雨量観測所
	屋外無線

過去におきた災害箇所

「過去におきた災害箇所」は、ワークショップにて挙げられた意見を基に「土砂災害」と「水害」に分類し、おおよその範囲を表示しています。

	土砂災害
	水害

指定緊急避難場所等の凡例

	指定緊急避難場所
	指定避難所

●指定緊急避難場所とは、切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所です。
●指定避難所とは、災害により自宅に戻ることができない場合などにおいて、一定期間避難生活を送る施設です。

避難情報が発令されたら...

市民センターから開設されます

※指定緊急避難場所などの開設は市民センターから行い、災害の規模に応じ小中学校などを開設していきます。
※指定緊急避難場所・指定避難所は災害の種別ごとに指定されています。各避難所の詳しい情報は、廿日市市ホームページをご確認ください。

※自主防災組織や町内会などで市民センター以外の施設を避難所として自主的に開設することもできます。
※集会所などを自主的に開設した場合は、佐伯支所までご連絡ください。

緊急の場合はマップ上の指定緊急避難場所などにとられず近く安全な場所に避難してください。